



第11号様式(第16条関係)

補助事業等実績報告書

令和6年 11 月 29 日

(宛先)

戸田市長

補助事業者 難聴者・中途失聴者サークル

住所又は所在地

氏名又は団体名 ことのは
及び代表者氏名 久保 睦子印

戸田市補助金等交付規則の規定により、次のとおり報告します。

交付決定年月日	令和6年6月18日	交付番号	11
補助年度	令和6年度	補助金等の名称	戸田市共創のまちづくり補助金
補助事業等の名称	聞こえにくくても安心なまちづくり		
補助事業等の施行場所	上戸田地域交流センター		
着手年月日	令和6年6月18日	完了年月日	令和6年11月29日
補助金等の交付決定通知額	50,000円		
補助金等の既交付額	0円		
補助事業等の補助対象事業費	46,556円		
補助事業等の経過及び内容	事業計画に沿って二つの事業を進め、事業目的の実現に努めた。		
添付書類 1・戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs応援事業補助） 2・領収書 3・印刷製本費・使用料・消耗品、食糧費の詳細一覧表 4・補聴器説明会・講演会アンケート集計結果 5・イベントチラシ、講演会レジメ等			

令和6年11月29日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 難聴者・中途失聴者サークル ことのは
代表者職・氏名 久保 睦子
所在地 XXXXXXXXXX

事業名	聞こえにくくても安心なまちづくり
実施期間	令和6年 6月 18日 ～ 令和6年 11月 30日

1 事業の具体的内容及びSDGsの成果

《事業の具体的内容》

Ⅰ 補聴器専門家による補聴器説明会

- 【目的】 補聴器の正しい知識、有効性についての普及
【日時】 7月15日（月・祝）10:00～11:30
【場所】 上戸田地域交流センター
【講師】 認定補聴器専門店 蕨ボイス補聴器センター
認定補聴器技能士 6-1530 坪田 修氏
【内容】 補聴器の基本的知識、有効性等の説明と相談
【会費】 無料
【参加者数】 12人（会員8人・非会員4人）
【情報保障】 要約筆記・手話通訳
【周知方法】 戸田市SNS、TOMATOホームページに掲載
補聴器説明会のチラシを市内公共施設に配架

Ⅱ 難聴者理解のための講演会

【目的】 難聴者・中途失聴者への理解、コミュニケーション方法の啓発

【日時】 11月17日（日）14:00～16:00

【場所】 上戸田地域交流センター

3階 ホール1～3

【内容】 秋の特別講演会

テーマ 「あきらめないコミュニケーション」

講師 石川千鶴氏

【会費】 無料

【参加者数】 40人（会員10人・非会員30人）

【情報保障】 要約筆記・手話通訳

【周知方法】 戸田市SNS、TOMATOホームページに掲載

秋の特別講演会のチラシを市内公共施設に配架

シルバー人材センターに置きチラシ

戸田市の補聴器店2店舗に置きチラシ、

下前町会地区、回覧板によるチラシ回覧

《SDGsの成果》

SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

SDGs 10 人や国の不平等をなくそう

聴覚障害者にとって、情報の格差は「生活の質」の格差につながっていく。補聴器説明会では衰えた聴力を補完し、音声によるコミュニケーションの質を上げる方法としての補聴器の正しい知識を難聴者に伝えることができた。石川千鶴氏の講演によって、難聴者には「聞き取りにくさを補足するコミュニケーションの方法と聞こえに関する情報」を提供することができた。実施したアンケートにおいて、参加者から「勉強になった」等の意見を多数得ていることから、情報を得られないことによる不平等をなくし、健康で安心な生活への実現への第一歩を進めることができたと感じている。

SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

石川氏の講演会では、戸田市の健聴者の方にも多く参加していただけた。

この講演を通じて、難聴者に対する理解と支援の協力をもとめることができたことから、誰もが支え支えられるパートナーシップで目標を達成することにも近づいてきたと感じている。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
6月～	補聴器専門家に説明会依頼・会場確保 補聴器説明会→SNS及びチラシによる周知と申し込み
7月15日(月・祝)	補聴器説明会 実施
8月～	講演会講師依頼・会場確保
10月～	講演会→SNS及びチラシによる周知と申し込み
11月17日(日)	講演会 実施
12月	アンケート集計・事業報告まとめ

3 事業の実施体制

・運営スタッフ4名(企画・立案・講師選定・講演会及び補聴器説明会主催) I補聴器説明会 協力スタッフ7名(会場準備・受付・片付け) 情報保障関係者5名(手話通訳者2名・要約筆記者3名) II秋の特別演会 協力スタッフ10名(会場準備・受付・参加者対応・片付け) 情報関係者5名(手話通訳者1名・要約筆記者4名) ※運営、および協力スタッフは全てことのは会員
--

4 反省点と課題

・補聴器説明会で、参加者15名以上を目標とし、ほぼ近い参加者数となった。しかし、戸田市内の潜在的な難聴者の参加が少なく、聞こえに困っている人に来てもらえるような呼びかけ方法を工夫するべきであった。 ・補聴器説明会事後のアンケートで、参加者の三分の二が「非常によかった」、「よかった」という結果となった。 ・講演会で、参加者40名以上を目標とし、達成することができた。 ・講演会事後アンケート(回収率約78%)で、満足度は約95%であり、参加者にとって有効な講演会を開くことができた。 ・2つの事業をとおして、近隣の難聴者団体や、手話学習者と連携ができた。また、事業の宣伝活動をとおして、地域の方々にことのはの存在を知ってもらい、難聴者に対する理解を一步進められたと感じている。 ・聞こえに困難を感じている人は多いはずだが、どこにいて、どう困っているかがなかなか見えてこないため、情報提供をすることが難しい。こちらから聞こえに関する情報をどう発信していくのかが今後の課題である。

《収支報告書》

【収入】

(円)

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (②－①)	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000	46,556	－3,444	
	その他				
自己資金		1,230	0	－1,230	
会費（参加費等）					
利用者負担金（売上等）					
協賛金・寄附					
その他					
合 計		51,230	46,556	4,674	

【支出】

(円)

	科 目	予 算 額 ①	支 出 額 ②	不用額 (①－②)	内 訳
補助 対 象 経 費	謝礼金	30,000	20,000	10,000	Ⅱ講師謝礼金 20,000
	交通費	3,000	1,854	1,146	Ⅱ講師交通費 1,854
	印刷製本費	2,060	6,884	－4,824	チラシ等印刷代 Ⅰ844 Ⅱ6,040
	使用料	12,270	12,870	－600	会場使用料 Ⅰ3,110 Ⅱ7,160 設備使用料 Ⅰ1,000 Ⅱ1,600
	食糧費	2,500	3,086	－586	Ⅰ1,900 Ⅱ1,186
	消耗品	1,400	1,862	－462	Ⅰ1,752 Ⅱ110
	小 計	51,230	※ 46,556	4,674	※支出額内訳 補助金充当額：46,556 自主財源：0
補助 対 象 外 経 費					
	小 計	0	0	0	
合 計		51,230	46,556	4,674	